

# 頭陀袋 (6)

発行 中山かんのん

## 恩林寺

中山中学下、電話三四一―二四五

### 七光・十二光

阿弥陀佛の光明は尽きることなく私  
たちを照らして居てくださることか  
ら、後光を無数の光の筋として表すこ  
とが多いですね。その光には十二種あ  
るそうで、無量寿経には次のように述  
べられております。①無窮の願力を現  
す無量光。②光の届かないところがな  
いという無辺光。③何にもその光をさ  
えぎることができない無礙光。④比べ  
る相手が無い無対光⑤自在にてらす  
炎王光⑥貪欲を照らす清浄光⑦瞋り  
を照らす歓喜光⑧愚かさを照らし、因  
果の道理を知らせる智慧光⑨途切れ  
ることのない不断光⑩考えも及ばな  
い難思光⑪とても言葉にできない無  
称光⑫太陽や月の光に勝る超日月光  
の十二光です。

阿弥陀佛は常にこのような光を発し  
ておられ私たちはその恩恵を蒙って  
居りますがそのことを親鸞聖人は正  
信偈(一切群生蒙光照)(生きとしい  
けるものはすべて阿弥陀仏の光に照  
らされる)と詠んでおられるわけです。  
親鸞聖人が救われたのはひとえにこ  
の十二光のおかげであったそうです  
が私たちも同じでしょう。ところで仏  
は先祖に通じ親は一番身近な先祖で  
すから、親にも仏さまと同じ働きがあ

おてら

出に行こう。

おしようさんと

ともだち

友達になろう。



ります。今、この世に生きている「親」  
はとても阿弥陀様の十二光にはかな  
いませんがそのうち七個ぐらいの光  
りを発して子供を育てていると思っ  
ます。親の七光りなんて、よく聴きま  
すね。親の七光りとは仏の光りに他な  
りません。また七は七変化、七不思議  
などといいます。親の七光りの七は多  
くのという意味だと捕らえてもいい  
のでないでしょうか？私たちは父母  
の恩恵を受けて生きているのは確か  
です。その恩恵を光りにたとえて遍照  
の光明と摂取の光明の二つになると  
いうような説明もあります。私達の心  
の闇をも照らし、救いにとってくださ  
るありがたい仏心に感謝し、ご恩に感謝  
しながら生きて行きたいものです。す  
でに親さまをなくされた方、ご先祖を  
お持ちの方、お仏壇を大切にお守りし  
ましょう。親の健在な方は日ごろのお  
守りに感謝しましょう。

### かんのん霊場めぐり

今年には壇信徒さまの中に飛騨三十三  
かんのん霊場めぐりをしたいのご  
希望がありましたら団参を計画した  
いと考えております。(バスで二日か  
りになるかと思えます。)

ご希望がありましたらお寺までお申  
し出ください。